



山中魂

～正義 勇気 土根性～

新潟市立山の下中学校たより

令和7年2月19日発行

第25号 校長 武藤 雅雄

全校朝会 「幸せな人生」(抜粋) 2月10日(月) 校長 武藤 雅雄

卒業式の意味

中学校までは義務教育。みんなが同じように保障された学びでした。しかし、中学校卒業後は、進学するか就職するか。自分が決めます。これからは、自分で考え、判断し、自分の力で人生を歩いていくことになります。

中学校の卒業証書授与式。3年生は、「これからは自分が選んだ道を歩みます」と決意表明し、山中のバトンを後輩に渡す場面です。1・2年生は3年生を見送りながら、「これから私たちが、山中の歴史と伝統を引き継ぎます」と山中のバトンを受け取る場面です。全校生徒が、心を一つにして、卒業式を迎えましょう。

幸せかどうかは自分の心が決める

「どうせ自分なんか…」と生きて生活すると、何事もいい加減になり、成果が出ません。成果が出ないので、言い訳をしたり、人のせいにしてしまいます。うまくいかずに「やっぱり自分はダメだ」と思う。これが『不幸の悪循環』です。

逆に、すべてに感謝の気持ちで生活すると、何でも一生懸命にやるので成果が出ます。だから、達成感や充実感を感じます。それが、自信につながり、もっと頑張ろうと思います。これが『幸福の好循環』です。

『幸せは、いつも自分の心が決める』
相田みつをさんの詩です。今の自分が幸せかどうか。それを決めるのはあなたの心なのです。3年生の皆さんが、幸せな人生を歩むことを願っています。

卒業証書授与式

3年生「これから自分の道を歩む」と決意表明する場

1・2年生

「これから山中の歴史と伝統を引き継ぐ」とバトンを受ける場

不幸の悪循環

⇒どうせ自分なんか…
⇒いい加減、成果が出ない
⇒言い訳・人のせいにする
⇒やっぱり自分はダメ…

幸福の好循環

⇒感謝の気持ちで生活する
⇒一生懸命、成果が出る
⇒達成感・充実感 ⇒ 自信
⇒もっと頑張ろうと思う

幸せはいつも

自分の心が決める

⇒今の自分が幸せかどうか
それを決めるのはあなた！



感謝の気持ちを伝える卒業式に

生徒朝会 「三年生を送る会」 2月18日(火) 生徒会本部

間もなく卒業を迎える3年生へ感謝の気持ちを表す「三年生を送る会」を生徒会本部が企画・運営しました。プログラムに3年生の先生方の似顔絵が描かれています。

クイズショー『山中魂を見せつけろ！勝ちとれ山Q王！』では、山中に関するクイズが出題され、大いに盛り上がりました。続くスライドショー『青春 movie』は、入学からこれまでの3年間をBGMとともにスライドで見ました。時には笑いあり、時にはしんみりと思い出す。そんな素敵な時間が演出されました。



その後、1・2年生と先生方、一人一人のメッセージカードが張られた模造紙が3年生に贈られました。最後は、3年生が1・2年生のつくった花道を笑顔で退場しました。短い期間で、アイデアを出し合い、3年生が楽しめる企画を完成させた生徒会本部と、それをフォローした1・2年生にも大きな拍手を送ります。



各種大会の結果 (全校朝会前に表彰しました)

- 新潟市中学生インドアソフトテニス大会
第2位 松本・松本
- 感謝状 全国中学生人権作文コンテスト
山の下中学校 (代表 3年生 金子さん)

